



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 ゼビオ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8281 URL <http://www.xebio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 諸橋 友良

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 中村 和彦

TEL 03-5282-7750

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年12月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	95,042	7.7	6,298	△19.2	6,484	△19.1	3,490	△25.1
24年3月期第2四半期	88,243	4.2	7,797	30.2	8,011	22.2	4,661	90.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 3,150百万円 (△24.4%) 24年3月期第2四半期 4,168百万円 (72.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	77.55	77.46
24年3月期第2四半期	103.55	103.49

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	164,091	106,791	64.8	2,363.42
24年3月期	164,759	103,966	63.0	2,307.59

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 106,382百万円 24年3月期 103,869百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	17.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,030	9.1	15,309	7.4	15,442	5.3	8,878	14.2	197.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	47,911,023 株	24年3月期	47,911,023 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,899,074 株	24年3月期	2,898,984 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	45,012,013 株	24年3月期2Q	45,012,481 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想としましては、本日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などにより持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務危機や円高の長期化、中国景気の減速と中国国内の反日デモによる企業業績への影響懸念等の問題から、先行き不透明な状況にあります。

当社グループの属するスポーツ用品販売業界におきましても、個人消費の停滞を受け、さらに天候不順によるアパレルの販売不振も重なり、依然として厳しい環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、従来から進めている「地域・個店マーチャンダイジング」をさらに強化・推進し、それぞれの地域に合った品揃えを実現するとともに、お客様ごとの使用目的に合った商品の提案に注力してまいりました。商品説明POPでも、機能や使用効果、商品モデル別の歴史などを詳しく紹介し、目的に合った商品を購入できるよう工夫し、スタッフの接客力も向上させております。

商品の差別化としては、プライベートブランド商品の開発・販売も強化し、スポーツに適した高機能素材を様々な商品カテゴリーで展開する「素材戦略」に、新たな素材を加えて商品ラインナップを拡大いたしました。

また、マーケティング強化策の一環として、カードホルダーの獲得を推進し、クレジット機能付きカード会員、学生向けポイントカード会員ともに大幅に増加いたしました。

出店につきましても、主力業態である大型総合スポーツ店スーパースポーツゼビオを7店、ゴルフ専門店ヴィクトリアゴルフ6店、ゴルフパートナー5店を出店するなど、ハイペースで実施いたしました。また、(株)ヴィクトリアが展開する都市型アウトドア専門店エルプレスは、ゼビオ(株)による展開も開始し、(株)ヴィクトリアで1店、ゼビオ(株)で2店の計3店を出店いたしました。同時にスクラップアンドビルドも進め、ヴィクトリア1店を閉店いたしました。これらにより、当第2四半期連結会計期間末におけるグループの総店舗数は21店舗増加し、465店舗となり、グループ合計の売場面積は前連結会計年度末に比べて7,105坪増加して150,987坪となりました。併せて、既存店への投資も積極的に行い、都心のヴィクトリアゴルフをプレミアムゴルフショップとする改装を実施いたしました。

一方で、売上総利益率につきましては、前年震災影響の反動から、キャンプ用品やトレーニングウェアといった高利益率商品の販売が減少し、価格競争が厳しく、利益率が相対的に低いゴルフクラブの販売が増加したことによる商品構成の変化や、季節変化のズレからくるアパレル商品のプロパー消化率の低下から、前年を下回りました。

今後の成長戦略として、新規出店や既存店の改装、カード発行を始めとした顧客基盤拡大やグループ内における商品流通の精度向上のための投資により、販売費及び一般管理費は一時的に増加いたしました。いずれも重要な施策と位置付けております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高950億42百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益62億98百万円（前年同期比19.2%減）、経常利益64億84百万円（前年同期比19.1%減）、四半期純利益34億90百万円（前年同期比25.1%減）となりました。

#### 〔主な商品部門別の営業概況〕

##### <ゴルフ用品・用具部門>

カスタマイズクラブの品揃えを拡充し、フィッティングサービスを強化するなど、一人一人のお客様に合った商品の提案に注力いたしました。これらの商品が堅調に推移したことと、前期に実施した改装の効果、震災後に起こった全国的なゴルフプレーの自粛の反動増もあり、販売は前年比大幅に増加して推移いたしました。

以上の結果、ゴルフ用品・用具部門の売上高は前期比14.8%の増加となりました。

##### <アスレチックスポーツ・シューズ部門>

一般競技スポーツでは、部活生向けの品揃え、キャンペーンを強化いたしました。サッカーやバスケットボールでは、部活生向けの品揃えを大幅に強化することで、顧客層が拡大し、販売は好調に推移いたしました。近年市場が縮小傾向であった硬式テニスも、各都道府県で中学校体育連盟への加盟が進み、中学生向けの需要が増加しております。シューズ部門では、減少が続いていたトーニングシューズに下げ止まりの傾向が見られ、主力のランニングシューズは、ランニングブームの継続により引き続き好調に推移いたしました。

以上の結果、アスレチック・シューズ部門売上高は前期比12.2%の増加となりました。

##### <トレーニングウェア部門>

前年被災地を中心に生活必需品としての需要が大きく増加したニットウェアの反動、夏季の気温上昇の遅れによるクールビズ商品の販売苦戦、9月の猛暑による秋物商品の立ち上がりの遅れなどにより、低調に推移いたしました。

以上の結果、トレーニングウェア部門の売上高は前期比9.1%の減少となりました。

##### <アウトドア・その他部門>

期初には、前年震災後に需要が急拡大したアウトドア照明器具や寝袋といったキャンプ用品で、その反動から

販売数量が大きく減少いたしました。夏季前半に気温が低めに推移したことからネッククーラー、クーラーボックスなどの暑さ対策商品の販売も低調に推移いたしました。一方、トレッキングでは、アウトドアブームの継続を追い風に、都心のエルブレスの商品構成を全国のスーパースポーツゼビオに波及させることで、顧客層は着実に拡大し、販売は好調に推移いたしました。

以上の結果、アウトドア用品・その他部門の売上高は前期比5.8%の増加となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億67百万円減少し1,640億91百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金、有価証券の減少などにより前連結会計年度末に比べ流動資産が47億94百万円減少し901億14百万円となったことによります。

当第2四半期連結会計期間末の負債の部は、支払手形及び買掛金が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ34億92百万円減少し573億円となりました。また、純資産の部は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が28億15百万円増加したことなどにより1,067億91百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、225億3百万円となり、前連結会計年度末に比べて103億75百万円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、△32億32百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を62億23百万円計上したこと、仕入債務の減少による資金の減少額が42億45百万円、たな卸資産の増加による資金の減少額が30億50百万円、売上債権の増加による資金の減少額が2億45百万円、法人税等の支払額が43億52百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△62億43百万円となりました。主な要因は、店舗の出店に伴う有形固定資産の取得による支出が32億96百万円、無形固定資産の取得による支出が5億41百万円、定期預金の預入による支出が25億円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△8億70百万円となりました。主な要因は、配当金の支払額が6億75百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出が5億5百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産（附属設備以外の建物を除く。）及び投資不動産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,578	20,253
受取手形及び売掛金	11,981	12,228
有価証券	7,300	4,750
営業貸付金	2,213	2,145
商品	42,501	45,554
繰延税金資産	1,673	1,497
その他	4,151	4,220
貸倒引当金	△491	△534
流動資産合計	94,909	90,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,992	38,114
減価償却累計額	△22,035	△22,784
建物及び構築物(純額)	14,956	15,330
土地	15,243	15,842
リース資産	4,077	5,907
減価償却累計額	△1,850	△2,242
リース資産(純額)	2,226	3,664
建設仮勘定	1,166	2,473
その他	10,983	12,252
減価償却累計額	△8,212	△8,793
その他(純額)	2,770	3,459
有形固定資産合計	36,363	40,770
無形固定資産		
のれん	4,595	4,416
ソフトウェア	3,674	3,634
その他	432	464
無形固定資産合計	8,702	8,514
投資その他の資産		
投資有価証券	843	761
長期貸付金	90	83
繰延税金資産	1,980	2,097
差入保証金	6,539	6,167
敷金	12,007	12,220
投資不動産	5,412	5,503
減価償却累計額	△3,450	△3,446
投資不動産(純額)	1,961	2,056
その他	1,509	1,499
貸倒引当金	△149	△195
投資その他の資産合計	24,784	24,691
固定資産合計	69,849	73,976
資産合計	164,759	164,091

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,590	34,348
未払法人税等	4,516	2,684
賞与引当金	796	821
役員賞与引当金	15	7
ポイント引当金	1,654	1,654
その他	9,070	10,349
流動負債合計	54,642	49,865
固定負債		
リース債務	2,068	3,369
繰延税金負債	101	101
退職給付引当金	254	235
役員退職慰労引当金	70	64
負ののれん	2	1
資産除去債務	2,803	2,905
その他	849	757
固定負債合計	6,150	7,434
負債合計	60,793	57,300
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,935	15,935
資本剰余金	16,096	16,096
利益剰余金	76,824	79,640
自己株式	△5,163	△5,163
株主資本合計	103,693	106,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106	53
繰延ヘッジ損益	68	△196
為替換算調整勘定	—	15
その他の包括利益累計額合計	175	△126
新株予約権	93	132
少数株主持分	3	275
純資産合計	103,966	106,791
負債純資産合計	164,759	164,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	88,243	95,042
売上原価	53,195	57,912
売上総利益	35,047	37,129
販売費及び一般管理費	27,250	30,831
営業利益	7,797	6,298
営業外収益		
受取利息	60	63
受取配当金	6	8
不動産賃貸料	375	376
負ののれん償却額	1	1
その他	171	122
営業外収益合計	615	571
営業外費用		
支払利息	9	3
不動産賃貸費用	382	333
為替差損	—	43
その他	8	3
営業外費用合計	400	385
経常利益	8,011	6,484
特別利益		
受取保険金	72	—
特別利益合計	72	—
特別損失		
固定資産除却損	26	38
減損損失	—	196
店舗閉鎖損失	7	25
賃貸借契約解約損	9	—
その他	0	0
特別損失合計	44	261
税金等調整前四半期純利益	8,040	6,223
法人税、住民税及び事業税	3,347	2,536
法人税等調整額	32	233
法人税等合計	3,379	2,770
少数株主損益調整前四半期純利益	4,661	3,453
少数株主損失(△)	—	△37
四半期純利益	4,661	3,490



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,661	3,453
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	9	△53
繰延ヘッジ損益	△501	△265
為替換算調整勘定	—	15
その他の包括利益合計	△492	△302
四半期包括利益	4,168	3,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,168	3,188
少数株主に係る四半期包括利益	—	△37

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,040	6,223
減価償却費	2,228	2,678
減損損失	—	196
のれん償却額	204	210
負ののれん償却額	△1	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	122	89
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25	25
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	△7
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△24	0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3	△19
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3	△6
受取利息及び受取配当金	△66	△71
支払利息	9	3
固定資産除却損	26	38
賃貸借契約解約損	9	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,556	△245
営業貸付金の増減額 (△は増加)	137	68
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,618	△3,050
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,315	△4,245
未払金の増減額 (△は減少)	202	△236
その他	△962	△554
小計	4,688	1,095
利息及び配当金の受取額	20	28
利息の支払額	△9	△3
法人税等の支払額	△2,090	△4,352
保険金の受取額	192	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,802	△3,232
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,973	△3,296
有形固定資産の売却による収入	0	—
有形固定資産の除却による支出	△43	△2
無形固定資産の取得による支出	△606	△541
定期預金の預入による支出	—	△2,500
敷金及び保証金の差入による支出	△625	△321
敷金及び保証金の回収による収入	599	575
預り保証金の返還による支出	△26	△51
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2	△142
その他	△9	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,687	△6,243

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△78	—
少数株主からの払込みによる収入	—	310
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△438	△505
配当金の支払額	△677	△675
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,194	△870
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△28
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,078	△10,375
現金及び現金同等物の期首残高	27,766	32,878
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,687	22,503

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

該当事項はありません。